

【議事録】

審議会等名	令和3年度 第2回つくばみらい市市民協働推進委員会
●日時	令和4年1月27日(木) 午前10時00分～午前11時30分
●場所	つくばみらい市役所伊奈庁舎3階 大会議室
●出席委員	古舘千恵子委員長、小菅均副委員長、石塚裕子委員、石村章子委員、大橋信久委員、 関慶広委員、藤林寿委員、菩提寺宗子委員、松本譲二委員
●欠席委員	小菅新一委員
●事務局	市長公室 菊地公室長 地域推進課 中村課長、関課長補佐、長塚主査、小林主事、前田主事
●傍聴人	なし
●次第	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 (1) 「つくばみらい市市民協働実施計画(案)」について (2) 令和3年度市民協働事業について(報告) (3) その他 4 閉会
1 開会	
2 委員長あいさつ	(古舘委員長)
3 議事	
	・委員長が議長となり、以下の議事進行を行った。 (1) 「つくばみらい市市民協働実施計画(案)」について ・事務局より説明を行った。 <b>【質疑・意見等】</b> 委員 : パブリック・コメントに対する市の考え方(案)について、市民協働基本指針に書かれていないと実施しませんという様に感じてしまいます。そのため、実施していくうえで優先順位をつけさせていただくといったような、誤解されない回答になるよう工夫していただきたいと思います。 事務局 : パブリック・コメントに対する市の考え方については、いただいたご意見を参考に工夫させていただきます。 委員 : コーディネーターという言葉はよく耳にしますが、ファシリテーターとはどのようなものなのでしょうか。 事務局 : 市民の方から「自分はこういった活動をしたい」、「自分の考えに近い団体はあるか」といった質問等に対し、様々な調整を行う方がコーディネーターであると考えております。また、ファシリテーターにつきましては、1つの例として、団体など、様々な方が集まる場面での進行役、補助する役、会や様々な物事が回るように円滑に進行していくような方

をファシリテーターといわれる場面もあるのではないかと考えております。

委員：コーディネーターとは、何かをしたいといった時に、あの人とこの人を呼んで一つの塊にしましょうと調整する役。ファシリテーターとは、数人が集まり、それぞれやりたい思いのある中、それを一つの方向にとりまとめるといった役割を担っている方をいうのではないのでしょうか。

## (2) 協働に関するこれまでの市の取り組みについて

- ・事務局より説明を行った。

### 【質疑・意見等】

委員：昨年実施した市民協働シンポジウムについて、若い方にメッセージを届けたいという思いがあったことはわかりましたが、実際に参加した方の年齢層が高いということですので、若年世代の参加率を上げる工夫が必要であると思いました。

また、それを踏まえ、来年度事業案について、定年退職者等を対象とした講座の開催を想定されていますが、対象者を絞っているというイメージを感じるため、若い方も対象とした講座などを意識して実施していただきたいです。

事務局：若年層の参加の少なさは、市民協働や様々な場面でも重要なテーマであると捉えております。若年層の方々に市民協働や地域活動といったものを伝えていく必要があると認識しておりますので、来年度の講座等の事業において、若年層も対象とする内容を検討していければと考えております。

委員：来年度の事業案における講座について、中学生・高校生、そういった年齢層の方々が市民協働に参加していただくような講座を実施していただきたいです。

事務局：ご意見いただいたように、高校生等に、今後実施するイベントに参加してもらったり、手伝ってもらったりするなど、工夫していきたいと思えます。

委員：学校はひとつのコミュニティであるため、小学生・中学生・高校生は、学校で市民活動のようなことを行っていると思えます。どういうことをして、どういうことになり、どういう失敗をして、どうなったのかを大人の前で話す、学校同士で話す、そういう場があっても良いのではないかと思います。

委員：中学校や高校に出向き、市民協働に関するワーキングを実施すれば、今後の事業に、はずみがつくと思えます。また、そういうことを経験した学生が、社会に出たときに、自分の市ではこういうことを行っていたということが残るのではないかと思います。

事務局：現在、高校生のみを対象とした事業は無いのですが、いただいたご意見を参考に、関心のある子どもたちの掘り下げなどを行っていければと思えます。

委員：福祉のこと、子育てのことなど、様々な要素から、市民の皆さんは不安を抱えていると思えます。皆さんが安全安心に生活できる環境に向けた地域の協働活動を入れていっても良いと思えますので、今後の事業計画として考えていただきたいです。

事務局：事業の中に取り組めるものについては、検討してまいりたいと思えます。

委員：市の総合計画の策定に関するワークショップに参加した際に、様々な世代が集まったことがありました。その際、各世代のつながりや、考え方を感じることができ、とても良い企画だと思えたので、各課で、幅広く実施していただけたらと思えます。

委員：定年退職者が、これから何をやるかと考えたときに、次のステージとして、市民活動と

思う人が多いと思いますので、定年退職者を対象とした講座というのには必要ではないかと考えます。また、中学校、高校というのは人が集まる土壌があるため、そこに出向き、ワークショップ等を実施するという意見は、すごく良いのではないかと思います。さらに、それぞれの世代によって必要としている市民活動は違うのではないかと感じています。そのため、全体に働きかけるよりは、分野別のターゲットを絞った公募を行うと市民に行きわたるのではないかと思います。

事務局： いただいたご意見を参考に工夫してまいりたいと思います。

委員： 今回、地域推進課の事業を中心に報告がございましたが、市民協働に関する事業は、全庁的に進めていかないといけないと思います。他課で、特徴的な動きをしているものがあれば教えてほしいです。

事務局： 例として、みらい平地区にある高砂熱学工業株式会社と市で、包括連携協定を結んでおります。その協定の中のコミュニティ分野において、高砂熱学工業株式会社の敷地を活用し、地域の方にお越しいただき、高砂熱学工業株式会社は施設の紹介、農家は野菜などを販売する「たかさごマルシェ」というものを行っております。

委員： せっかく様々な事業を行っているのであれば、もっとアピールしたほうが良いと思います。

事務局： 市民協働は、部署間の垣根を超え、全庁的に取り組んでいくものですので、PRは行っていきたいと思います。

### (3) その他

- ・石塚委員より、所属団体である「読み聞かせ虹の会」の活動に関する報告が行われた。

#### 【質疑・意見等】

なし

## 4 閉会（午前11時30分）

### ●配布資料

- ・令和3年度第2回 つくばみらい市市民協働推進委員会 会議次第
- ・令和3年度第2回 つくばみらい市市民協働推進委員会 会議資料